

例会報告：2017年6月6日（晴れ）

第1982回 通常例会

◆ 会員誕生日

上田 博和さん（6月5日）



◆ 結婚記念日

中村 維孝さん（6月9日）  
辻村 彰秀さん（6月10日）  
大川 久弥さん（6月10日）

◆ 奥様誕生日

木村 千鶴江様（6月12日）

◆ ニコニコ箱

大川 裕 委員

	ニコニコ箱	累計	目標
6月6日分	22,000	777,515	1,200,000

◆ ビジター

**高田 喜好様AG（小田原RC）**…本日はガバナー補佐退任のあいさつに伺いました。1年間大変お世話になりました。次年度のガバナー補佐神谷氏も私同様によりしくお願いします。

**神谷 一博様（湯河原RC）**…高田補佐の後任としてまいりました。引き続き次年度宜しくお願ひ致します。

◆ Welcomeメッセージ

**石崎 孝さん**…高田AGには、1年間大変ご苦勞様でした。神谷AGEには次年度ご指導をよろしくお願い致します。

**杉崎 勝成さん**…高田AG、1年間ご苦勞様でした。又、神谷AG、1年間よろしくお願い致します。

◆ 会員誕生日

**上田 博和さん**…誕生日のお祝いありがとうございます。47才になりました。これからがんばります！

◆ 結婚記念日

**辻村 彰秀さん**…結婚記念日のお祝いありがとうございます。忘れずに助かります。

**大川 久弥さん**…結婚記念日のお祝いありがとうございます。

◆ 奥様誕生日

**木村 啓滋さん**…妻の誕生日をお祝いしていただき、ありがとうございます。

◆ その他

**清 康夫さん**…7月から使用する2階の例会場をきれいにし、会場を明るくなるよう努力しております。

**柳井 渉さん**…本日、須賀さんの息子が見学に来て、7月から入会をしていただきます。皆様よろしくお願ひします。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2017年6月-

- ▶14日（水）小田原北
- ▶15日（木）小田原中 報徳会館 12：30
- ▶16日（金）湯河原 万葉荘 12：30  
「家族親睦会」
- ▶16日（金）足柄 おんりーゆー 12：30  
「クラブ協議会（事業報告）」
- ▶19日（月）小田原 夜間移動例会小田原万葉の湯 18：00  
「クラブ協議会（委員長今期事業報告）」
- ▶20日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30  
「年度末クラブ協議会 会長」
- ▶21日（水）小田原北
- ▶22日（木）小田原中 報徳会館 12：30  
「クラブフォーラム@ 担当理事1年を振り返って」
- ▶23日（金）湯河原 万葉荘 12：30  
「クラブ協議会@会長・副会長・幹事」
- ▶23日（金）足柄 おんりーゆー 12：30  
「クラブ協議会（事業報告）」
- ▶26日（月）小田原 小田原お堀端万葉の湯 18：00  
夜間移動例会
- ▶27日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12：30  
「年度末クラブ協議会：会長」
- ▶28日（水）小田原北
- ▶29日（木）小田原中 報徳会館 12：30  
「クラブフォーラム@ 執行部1年を振り返って」
- ▶30日（金）湯河原 休会
- ▶30日（金）足柄 事務引き継ぎ

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：<http://www.odawarajhrc.jp>  
Mail：[info@odawarajhrc.jp](mailto:info@odawarajhrc.jp)  
例会場：小田原卸センター内会議室  
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例会：毎週火曜日 12:30～13:30  
クラブ会報委員会  
監修：櫻井 康二  
編集長：小林 和彦  
コピーライター：小林 和彦  
デザイン：小林 和彦  
フィールド：大川 久弥

会員数：35名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2016-2017  
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】  
ジョン・ジャーム  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
佐野 英之  
【第9グループガバナー補佐】  
高田 喜好



【会長】辻村 彰秀  
【副会長】阿久津 馨  
【幹事】櫻井 康二  
【副幹事】荻野 善明  
【会場監督】小川 和夫

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

本日の例会：通常例会（第1983回）

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2017年6月13日 12：30～13：30  
司会：荻野 善明 副幹事

12：30	開会点鐘：辻村 彰秀 会長 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	卓話：米山奨学生 李 自然（イ ジャヨン）様
13：30	閉会点鐘：辻村 彰秀 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

6月20日（火）通常例会 12：30  
クラブ協議会（最終例会）

6月27日（火）休会

7月 4日（火）通常例会 12：30  
卓話：辻村直前会長  
「1年を振り返って」

7月11日（火）年初例会  
場所：報徳二宮神社 報徳会館  
受付：16：30～17：00  
例会：17：00～17：30  
クラブ協議会：17：40～18：20  
懇親会：18：30～20：00

MEMO



RAC  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



## 例会報告：2017年6月6日（晴れ） 第1982回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2017年6月6日 12：30～13：30

### ❖ 会長挨拶



#### 辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは！ 6月に入り、そろそろ梅雨入りの時期です。今年は、平年より雨が多くなり、気温も高く、蒸し暑い日々が続くとの予想が出ておりますので、熱中症、食中毒等、十分にご注意ください。

さて、6月といえばジュンブライトを思い出しますが、これは6月に結婚する花嫁が幸せになるというジンクスとして広く伝わっています。皆さんはこの由来をご存知ですか。

これはローマ神話の結婚生活の女神ジュノーを祝う6月に結婚すると、ジュノーに見守られ素敵な結婚生活ができ、幸せになれる。又、昔ヨーロッパでは、農作業が忙しい3～5月は結婚が禁止されていたため、6月に多くのカップルが結婚したため、又、ヨーロッパでは6月が一番天気の良い月で、雨が少なく、気温も良い月だったためと、この3つの理由により、ヨーロッパにおいてジュンブライトは昔から言い伝えとして広まっていた。しかし、日本では梅雨時の6月ですので、ジュンブライドが知れ渡る前には、この時期の結婚式は避けるカップルが多かったそうです。結果、ホテルの式場は梅雨時には売り上げが悪かったそうです。1967年頃にホテルオークラの副社長が海外の結婚式事情を調べて、ジュンブライドを探し出し、「ヨーロッパでは6月の花嫁が幸せになれると言い伝えがあります。」と宣伝をはじめ、ジュンブライドの言い伝えが日本にて浸透してきたそうです。バレンタインデーと同様に、企業、業界の前向きな努力により日本に浸透していったものだそうです。是非、当クラブも前向きな努力、つまり増強を更に進めていきたいと思っております。皆様には、更なる新入会員の発掘を宜しく願いいたします。

本日の卓話は、加藤和磨さんの「夕張の現状について」です。皆さんもご存知のように、夕張は炭鉱の町として栄え、閉山と共に人口減少が進み、2006年には、不適切な会計処理や深刻な財政難が表面化し、10年前の2007年3月には財政再建団体に指定され、事実上、財政破綻しました。現在、再建のため大変頑張っておられます。これは、他山の石ではなく日本のどこでも考えられる問題を含んでいると私は思っております。大変参考になるお話だと思っておりますので楽しみにしております。加藤様、宜しくお願いいたします。

本日は、7月1日より皆さんと仲間になる須賀さん、高瀬さんがいらしておられます。例会をお楽しみください。

残念なご報告ですが、本日理事会にて承認されましたが、5月末にて大高さんが一身上の都合によりクラブを退会されました。

本日、当地区ガバナー補佐の高田さんと、ガバナー補佐レクトの神谷さんがいらして。その後、ご挨拶をいただきました。宜しくお願いいたします。

以上、本日の会長挨拶でした。ありがとうございます。

### ❖ 幹事報告



#### 櫻井 康二 幹事

- 1)本日、第12回定例理事会が開催されました。
  - ・高瀬 美穂 様の新会員推薦状が承認されました。
  - ・5月23日実施の施設見学会の決算が承認されました。
- 2) 本日からクールビズです。

### ❖ 出席報告

#### 木村 啓滋 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
6月6日	35(34)	26	0	76.47%
5月30日	36(32)	24	0	78.79%
5月23日	36(34)	26	1	79.41%

【欠席者】：8名  
露木 清勝、大川 裕、一寸木 芳行、長田 英一、内山 昇、大木 清、齋藤 永、富田 浩一郎  
【今回MU】なし  
【前回MU】2名増加  
露木 清勝 (6/4 RAC)  
柳井 渉 (6/4 RAC)  
【前々回MU】増加なし

### ❖ ご挨拶



#### 本年度ガバナー補佐・高田様

本日はガバナー補佐退任の御礼で参りました。1年間ありがとうございました。特に直前AGの石崎さん、辻村会長、櫻井幹事、大川IM実行委員の皆さんにはご協力感謝いたします。大変楽しいガバナー補佐活動でした。クラブでは味わえない貴重な経験をさせていただき有意義に過ごせました。



#### 次年度ガバナー補佐・神谷様

湯河原RCの神谷です。1年間よろしく申し上げます。今日は新入会予定のお二人と同席できて嬉しい限りです。7月から一緒に活動を始めましょう。石崎さんも含め、3人のガバナー補佐が揃っていますのでドキドキしながら素晴らしい時間を過ごさせていただいております

### ❖ 委員会報告

#### 次年度・須藤 幹事

本日17：30より新旧役員引継ぎ会がありますので対象者はお集まりください。7/11に予定している年初例会は、報徳会館の駐車場が工事の関係で使用できないので、向かいの有料駐車場をご利用ください。国際ロータリー2780地区でゴルフコンペが9/8（金）に予定されています。参加ご希望の方は事務局までお問い合わせをお願いします。

### ❖ 卓話



#### 「夕張市の歴史と現状」

#### 夕張青年会議所・加藤 和磨 様

私は夕張市出身で高校まで夕張で育ち、その後東京で17年間生活していました。去年地元へ戻って地方創生活動に取り組んでいます。今日は夕張の歴史と現状をお話したいと思います。夕張の財政破綻とは何かという部分がニュース等では分かりにくいので、そのご説明もさせていただきます。

最初に自己紹介を。私は東京で一般財団法人日本政策学校に勤めていました。政治家を養成する学校です。そこでJCの大先輩にお会いし、上田先輩が会長をなさっている夕張再生の会をご紹介いただきました。私は地元のことをやっていなかったで、全国の方が夕張のために活動されているのを知って自分も頑張ろうと思ったのが最初です。今は商工会議所や青年会議所で色々やりながら上田先輩と一緒に映画祭など企画しています。

夕張という名前はお聞きになったことがあるでしょう。場所は新千歳空港から1時間くらいのところで、スキー場など観光的に良い場所がたくさんあります。有名な夕張メロン。先日の初セリでは2玉150万円で取引されたそうです。財政破綻して苦しんでいる面ももちろんあります。歴史を簡単に説明しますと、夕張は国の政策・北海道の政策で破綻した経緯があります。国のエネルギー政策の転換が大きな原因になっています。国は元々石炭をどんどん掘れというやり方で高度経済成長をしていきました。夕張は三井と三菱が入って栄えていたのですが、その後、石油へのエネルギー政策転換があり、炭鉱が潰れて連鎖倒産が起こりピンチを迎えます。国ではバブル経済期で、地方はどんどん公共事業をやりなさいと指示され、夕張も観光産業に走ります。遊園地などを作り、それが借金を招いて破綻のきっかけになってしまいました。

夕張市は322億円の負債を抱えて、2007年に財政破綻しました。今年で10年目です。破綻の影響は人口減少が非常に大きいです。現在も8600人しかいませんが、2040年には人口が3000人強になると言われています。最盛期は12万人がいて北海道10位の人口でした。そこからどんどん減少しています。課題は公共サービスが非常に苦しいところ。民間でいうと破綻して再生機構に入っている状態で、夕張市は総務省の管轄に入っています。普通の自治体なら予算がありそれに対して執行していくのですが、予算権も人事権も全て総務省にある状況です。再生計画に則って公的サービスに負荷がかかっているの、住む人が減るわけです。動めていても住まない・出ていく現象が大きな課題です。私は去年夕張で起業し国民保険を払おうとしたら毎月68,000円でした。普通の6倍くらいの金額です。水道料金も隣の8倍で、公的サービスが異常に高いので人口流出が止まらないのが現状です。これによって医療福祉面が難しい、若者が出て行ってしまうので産業も発展しない、夕張メロンも後継者不足が深刻です。生活面ではスーパーや小売業の撤退が相次ぎ、居酒屋も夜早く閉まる状態です。教育面では夕張高校には1年生が20名しかいません。存続にも懸念が出ています。公共施設の維持も難しく、プールや美術館は雪で倒壊し、公的図書館も無くなりました。人口流出を防ぐ施策を頑張ろうというのが夕張市の現状です。

改めて歴史を。明治時代にライマンという方が炭鉱を発見し、世界一と言われる質の良い石炭が採れるようになったの

が始まりです。明治大正にかけて二大財閥も入ってきて街づくりがされました。昭和に入って国が炭鉱産業を推し進め、40年代に最盛期を迎えます。その後、石炭から石油へ、石炭も輸入ものへとエネルギー政策が切り替えられます。産炭地は他にもあるのに何故夕張市が厳しくなったかという、石炭の質が良かったせいで最後まで企業誘致をしなかったからです。昭和56年、北炭夕張新炭鉱ガス爆発が起こります。死者93名、火災が収まらず安否不明者がいる中で水を入れて消すしかなかった大惨事でした。最新鋭の炭鉱でも事故を防げなかったことで、炭鉱産業からの撤退を決定づけた出来事でした。その後、夕張は観光産業に走ります。企業誘致には知名度が必要ということで、観光とメロンに力を入れました。目的は企業誘致だったのです。しかしバブル景気の時観光が当たったので、目的を観光にシフトしました。スキー場やホテルがオープンする中でバブルが弾けます。スキー場からスポンサーが撤退する時、市は購入するつもりはありませんでした。それが何故買うことになったかという、スキー場を残せという住民運動が起こったからです。結果26億円の負債を背負い、破綻の大きなきっかけとなってしまいました。財政破綻を決めてからは公共サービスを下げ住民の負担を高くする政策が続きます。2011年に現在の鈴木市長が当選されて総務庁と掛け合いながら頑張っているところです。

前向きな話もあります。今年度、総務省から特別交付税新規事業を100億円でやっていいという許可が出たのです。また夕張メロンは保護制度でブランド化され、高値が付いています。スキー場を売却し中国資本が入りました。購入額3億円とこれから100億円投資するという話もあります。今後10年かけて再生計画に100億円規模の事業を盛り込んでいいとなりました。100億円は国と道と市で賄うことになるので、夕張市も財源を確保しなくてはなりません。そのためにふるさと納税と、新しく始まった企業版ふるさと納税にも力を入れています。総合計画としてはやはり人口減少を止めることが重要です。若者の定住を目指して働く場を作り未来を託すプロジェクトや、コンパクトシティ化を進めたりしています。炭鉱遺産が多くあるので、それを美術館、シェアオフィス、民泊などで活用したいと考えています。炭層メタンガスを発電に使う実験も進んでいます。これがうまくいくと北海道100年分の電気が賄えるような大きなものですが、コスト削減がポイントです。コンパクトシティというのはなかなかこの自治体でも成功していません。街を集約化することは引越しを推さなければならぬので、住民感情と対立してしまうのです。しかし夕張市は除雪コストが高く、コンパクト化への賛成意見も多く見られます。総務省としてはここで成功事例を作りたい気持ちもあるでしょう。夕張メロンは認知度が高く、私のやっている飲食店でもメロンバイキングは好評をいただいています。地方創生の大きな戦略になると思います。スキー場は中国資本になりましたが、外国資本の参入は議論を呼んでおり、実際夕張の街なかには中国人だらけになりつつあります。これに対して住民は様々な感情があるでしょうし、地元企業との兼ね合いもあります。善し悪しの判断は慎重にすべきでしょう。

最後に。夕張は莫大な借金を抱え人口流出をされていて高齢化率が全国1位の市です。これは日本中の自治体が将来迎えると想定される姿なのです。夕張市で何か成功したものを展開することで、他の街を救うモデルケースになるかもしれません。日本の活性化に繋がる何かを得られるかもしれません。ぜひ今後も夕張市に着目していただきたいと思います。